

無駄を富に返還!!

サーキュラエコノミーで競争優位性の確立提案書

●使用済みフレコン/ブルーシートの循環ループ構築とコスト改善の同時実現

+マテリアルリサイクル

★生産と消費のあり方に創造的破壊をもたらします。

★SDGs（持続可能な開発目標）=12.作る責任・使う責任対応



アジェンダ

1. 【結論・サーキュラエコノミー】 使用済フレコンブルーシート（PP/PE樹脂）の循環ループ構築とコスト改善の同時実現
2. 【結論・マテリアルリサイクル】 MIX系硬質プラのK S C独自再資源ペレット化でコスト改善
3. 【問題定義】 廃棄物処理費の負担/SDGs=作る責任・使う責任（現在）
4. 【解決策】 K S C独自のリサイクル循環ループを御利用下さい!!
【信頼（一環業務）/安心】 廃棄物処理許可事業者/廃棄物再生事業者登録/国内品質基準検査認定
5. 【会社概要】
6. 【アクション】 是非、K S Cの循環ループで「無駄を富にして下さい!!」

サーキュラエコノミーとは

サーキュラーエコノミー（循環型経済）とは、従来の「Take（資源を採掘して）」「Make（作って）」「Waste（捨てる）」というリニア（直線）型経済システムのなかで活用されることなく「廃棄」されていた製品や原材料などを新たな「資源」と捉え、廃棄物を出すことなく資源を循環させる経済の仕組みのことを指します。

使用済フレコンブルーシートの循環ループ構築とコスト改善の同時実現

★サーキュラエコノミー



現在の貴社

1. 各地工事現場で廃棄物処理
2. コストがかかりすぎ
3. SDGs未対応では ※社会的責任 (12.作る責任・使う責任対応)



KSCの提案

1. KSC独自のリサイクルループの御利用提案
2. 使用済物安価対応
3. リサイクル製品安価供給
4. 循環型経済モデル提案
5. コストDOWN同時提案



貴社

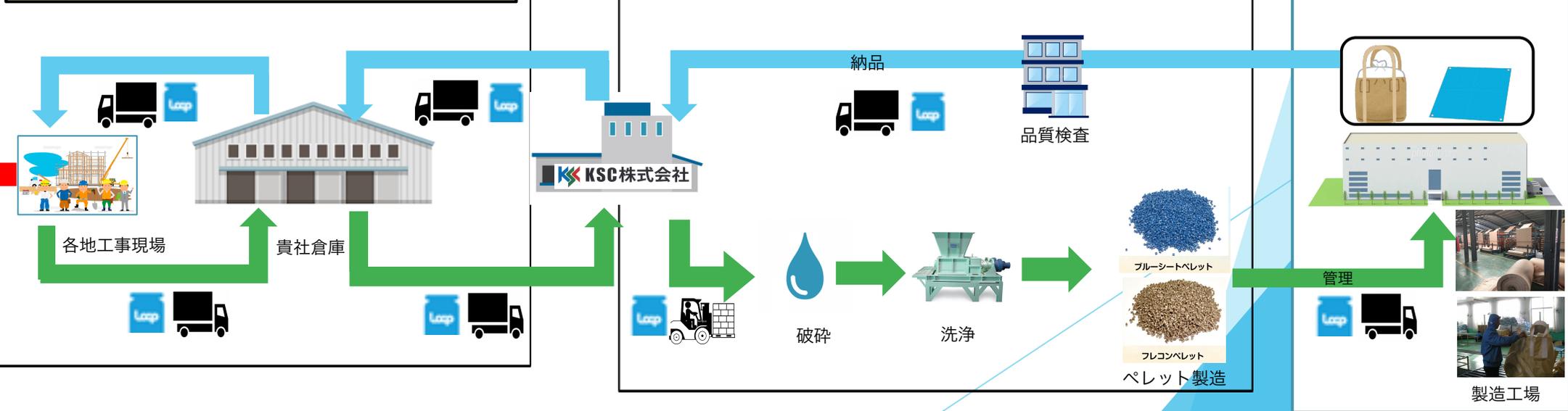
KSC大野工場/提携工場 (ブルーシート/フレコン)

NO!

今まで



廃棄物処理

【問題定義（企業としての課題と責任）】

廃棄物処理費の負担/SDGs=作る責任・使う責任（現在）

※企業としての社会的責任・倫理を問われる時代です



プラスチック資源循環戦略（概要）

背景

- ◆ 廃プラスチック有効利用率の低さ、海洋プラスチック等による環境汚染が世界的課題
- ◆ 我が国は国内で適正処理・3Rを率先し、国際貢献も実施。一方、世界で2番目の1人当たりの容器包装廃棄量、アジア各国での輸入規制等の課題

重点戦略

基本原則：「3R+Renewable」

リデュース等	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ワンウェイプラスチックの使用削減(レジ袋有料化義務化等の「価値づけ」) ▶ 石油由来プラスチック代替品開発・利用の促進
リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ▶ プラスチック資源の分かりやすく効果的な分別回収・リサイクル ▶ 漁具等の陸域回収徹底 ▶ 連携協働と全体最適化による費用最小化・資源有効利用率の最大化 ▶ アジア禁輸措置を受けた国内資源循環体制の構築 ▶ イノベーション促進型の公正・最適なリサイクルシステム
再生材 バイオブラ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 利用ポテンシャル向上（技術革新・インフラ整備支援） ▶ 需要喚起策（政府率先調達（グリーン購入）、利用インセンティブ措置等） ▶ 循環利用のための化学物質含有情報の取扱い ▶ 可燃ごみ指定袋などへのバイオマスプラスチック使用 ▶ バイオブラ導入ロードマップ・静脈システム管理との一体導入

【マイルストーン】

<リデュース>

① **2030年までにワンウェイプラスチックを累積25%排出抑制**

<リユース・リサイクル>

② **2025年までにリユース・リサイクル可能なデザインに**

③ **2030年までに容器包装の6割をリユース・リサイクル**

④ **2035年までに使用済プラスチックを100%リユース・リサイクル等により、有効利用**

<再生利用・バイオマスプラスチック>

⑤ **2030年までに再生利用を倍増**

⑥ **2030年までにバイオマスプラスチックを約200万トン導入**

海洋プラスチック対策	プラスチックごみの流出による海洋汚染が生じないこと（海洋プラスチックゼロエミッション）を目指した ▶ ボイ捨て・不法投棄撲滅・適正処理 ▶ 海岸漂着物等の回収処理 ▶ 海洋ごみ実態把握(モニタリング手法の高度化)	▶ マイクロプラスチック流出抑制対策(2020年までにスクラブ製品のマイクロビーズ削減徹底等) ▶ 代替イノベーションの推進
国際展開	▶ 途上国における実効性のある対策支援（我が国のソフト・ハードインフラ、技術等をオーダーメイドパッケージ輸出で国際協力・ビジネス展開） ▶ 地球規模のモニタリング・研究ネットワークの構築（海洋プラスチック分布、生態影響等の研究、モニタリング手法の標準化等）	
基盤整備	▶ 社会システム確立（ソフト・ハードのリサイクルインフラ整備・サプライチェーン構築） ▶ 技術開発（再生可能資源によるプラ代替、革新的リサイクル技術、消費者のライフスタイルのイノベーション） ▶ 調査研究（マイクロプラスチックの使用実態、影響、流出状況、流出抑制対策） ▶ 連携協働（各主体が一つの旗印の下取組を進める「プラスチック・スマート」の展開）	

◆ **アジア太平洋地域をはじめ世界全体の資源・環境問題の解決のみならず、経済成長や雇用創出 ⇒ 持続可能な発展に貢献**

◆ **国民各界各層との連携協働を通じて、マイルストーンの達成を目指すことで、必要な投資やイノベーション（技術・消費者のライフスタイル）を促進**

混合廃棄物として排出し、処理コストが高すぎる



2022年4月1日より施行
「プラスチック資源循環促進法」



企業として
取り組むべき時代背景!!

では・・・どのように・・・

【会社概要】

会社データ	
商号	K S C 株式会社
設立	平成12年12月4日
代表取締役	川村 宗徳
業務内容	プラスチック商社、各種プラスチック加工、リサイクル機器販売、産業廃棄物処理業、資材販売
取引銀行	大垣信用金庫、十六銀行、岐阜信用金庫
資本金	3,000万円
K S C 大野工場	〒501-0533 岐阜県揖斐郡大野町大字本庄字村前333-1 電話 0585-36-0400 (代) FAX 0585-36-0408



【アクション】

是非、KSCの循環ループで「無駄を富にして下さい!!」

無駄を富に返還!!

サーキュラエコノミーで競争優位性の確立提案

★使用済フレコン/ブルーシートの循環ループ構築（安価提案）

★MIX系プラスチックの再資源ペレット化リサイクル（安価提案）

是非導入を御検討ください!!

 **KSC株式会社**

本社：〒501-6304 岐阜県羽島市舟橋町出須賀2-35

【TEL】058-201-7772 【FAX】058-201-7773

大野工場：〒501-0533 岐阜県揖斐郡大野町大字本庄字村前333-1

【TEL】0585-36-0400 【FAX】0585-36-0408



【その他】取扱商品（資材販売）

なまし番線



フレコンバッグ



フレコンスタンド



ブルーシート



ストレッチフィルム]



樹脂板

